

低入札価格調査の実施概要

工事名:新濃尾(二期)地区 四ツ家町仮置場整備工事

調査の対象となった業者名:(株)小池建設

住所:愛知県名古屋市中東区山の手2-207

調査項目	内容
① その価格により入札した理由	・本社から施工場所が近いこと、自社社員・重機による施工を行うことで工事価格を算出しており、適切な施工体制の確保が可能。また、一般管理費に係る経費については、過去の施工実績により算出し自社の経常経費と併せて運用することから適切な施工が可能と判断できる。
② 契約対象工事付近における手持工事の状況	・東海財務局発注の名古屋市内の工事があるが、工期末が令和4年7月28日であるため、自社社員及び重機を引き続き使用することでコスト縮減を図っている。
③ 契約対象工事に関連する手持ち工事の状況	
④ 契約対象工事個所と入札者の事業所、倉庫等との地理的条件	・本社及び資材倉庫から下道で10km(30分)程度であり、現場事務所に係る経費等の縮減が期待できる。
⑤ 手持資材の状況	・当該工事で使用する仮設材は自社で確保されており、適切に施工が可能と判断できる。
⑥ 資材購入先及び購入先との関係	・当該工事で新たに購入する資材はないことから、資材の購入なしで報告を受けている。資材倉庫が施工場所に近いことや仮設材が確保されていることから、適切な施工管理が可能と判断できる。
⑦ 手持機械数の状況	・手持工事で使用している機械及び保有している機械を報告されたが、これに加えて、手持工事で使用しているリース機械も継続して使用することでコスト縮減を図っている。
⑧ 労務者の具体的供給見通し	・自社社員人数の報告があり、先に手持工事が完了するため労務者の確保が可能と判断。また、労務単価が公共工事労務単価と異なるが、自社社員とこの内容で確認されていることから、適切な施工体制の確保が可能と判断できる。
⑨ 過去に施工した公共工事名及び発注者	・令和元年12件、令和2年11件、令和3年14件の実績を確認し、十分な施工実績を有することから、適切な施工が可能と判断できる。
⑩ 経営内容	・提出された財務諸表、経営規模等評価結果通知書から一定の経営基盤を構築していると判断する。
⑪ ①から⑩まで事情聴取した結果についての調査検討	・積算内訳書、明細書及び配置予定技術者の資格と合わせて検討した結果、契約内容に適合した工事が確実に履行されることが認められる。
⑫ ⑨の公共工事の成績状況	・直轄工事の受注実績なし。
⑬ 経営状況	・企業信用調査会社(東京商工リサーチ等)への照会により一定の経営基盤を構築している経営状況と判断する。
⑭ 信用状態	・建設業法違反及び賃金不払い等はなく、自社社員へのしわ寄せはないと判断する。また、施工体制確保においても問題ないと判断する。